



「親の思い」 「子の思い」

「親の心子知らず」「子の心親知らず」ということわざがあります。「子どものために思っているのに言うことを聞かない」「子どもの将来を心配しているのにちっともわかってくれない」、逆に、「私だって色々考えているのにいつまでも子ども扱いされる」「親孝行を思い、親のためによかれと思ってやったのに感謝されなかった」など、人は常に自分の立場、自分の置かれた状況により、自分を中心にして周りを見渡しがちです。

しかし、そこを一步進んで「逆の立場で考える」「相手の立場になって思いやる」という考え方がとても大切です。つい甘えてしまうのが家族であり、それでいて一番大切にしないといけないのも家族間の思いやりではないでしょうか。

川本中学校2年生の生徒とその保護者のかたに御協力いただき「親（子ども）に言われて・してもらって嬉しかったこと」「親（子ども）に言われて・されて嫌だったこと」についてアンケートを実施しましたので、その中からいくつかをまとめ、御紹介いたします。

～ アンケート結果 ～



嬉しかったこと

- テストの点数が低くて怒られると思ったけど、「ちゃんと見直しなよ」「次のテスト頑張れ」と言ってくれたとき嬉しかった。
- 学校で嫌なことがあって悩んでいたなら「今日、暗いね？何かあった？相談にのるよ」と言われたとき。
- 親の手伝いをして「ありがとう」と言われたとき。
- 産まれてきてくれてありがとうと言ってくれたこと。
- 部活で新記録が出たときに一緒に喜んでくれて、次も頑張れと言ってくれたとき。
- 怪我をしたときに本当に心配してくれたこと。
- 忘れ物をしたときに何も言わないでそっと持ってきてくれたこと。
- 遅くまで仕事しているのに、ごはんを作ってくれてあること。
- 家族のために働いてくれること。
- 誕生日を祝ってくれて毎年ちょっとしたことをやってくれること。
- どんなに忙しくても何かあったらすぐに駆けつけてくれること。
- 父に「今日の試合負けて悔しかったか？」と言われて「うん」と言ったら「だったらいい、これからお前はもっと伸びる」と言われたこと。

生徒

嫌だったこと

- 部活の応援に来てくれたとき、プレッシャーでいいプレーができなかったら嫌な顔をされたところ。
- 今やろうと思ったことを「早くやりなさい」と怒られたこと。
- 「お兄ちゃんなんだから」と弟と比較されたこと。
- 自分は真面目にやっていたのに親に色んな事を注意されること。
- 自分の考えを真っ向から否定されたこと。
- 参観日とかに仕事で来てくれないこと。
- 「勉強しろ」と何回も言われたとき。
- 私の愚痴を私の前で言うこと。
- 行きたいところに連れていってくれないこと。
- 自分の趣味に「どこがいいの？」みたいな感じで文句を言うこと。
- 話を聞いてくれないところや無視されること。
- テストで良い点をとっても全然いい顔しないこと。
- あれはダメ、これはダメと、いちいちうるさい口を出してくる。
- 自分のペースで動いているのにそれを邪魔されたとき。
- 自分のやりたいことを否定されたとき。

保護者

- 「いつも厳しくされて嫌だと思った時もあったけど、ママがそうしてくれたおかげでがんばれた」と言ってくれたこと。
- 毎日あたりまえのようにしているつもりだったことに「ありがとう」と言ってもらったとき。
- 自主的に家の手伝いなどをしてくれたり、助けてくれたとき。
- 部活で疲れて帰ってきて、私が忙しいときは、「何か手伝うことはないか」と声をかけてくれ、なんでも手伝ってくれること。
- 体調が悪い時に優しく気遣ってくれること。
- 食事を「おいしい」と言ってきれいに食べてくれること。
- 自分のやりたいことを一所懸命やっている姿を見たとき。
- 学校生活での話を楽しそうに伝えてくれるとき。
- 生活態度について注意をしたとき、そのときは聞き入れてもらえず言い争いとなってしまったが、数時間後に手紙をくれて謝ってくれたとき。
- 怒られてばかりの息子が、親切にしてくれた方への感謝の気持ちを忘れず、自らお礼に伺ったことをとても嬉しく思いました。
- 母の日や誕生日にプレゼントや手紙をもらったとき。

- 部活の練習試合とかを見に来ないでと言うこと。
- 子どもの為だと思って言ったことでも「うるさいなあ」と言われてしまうとき。
- 下の子を優先して世話をしていたら、「どうせ私なんて…」と言われたこと。
- 参観日などに行くと無視されたり、露骨に嫌な顔をされてしまうこと。
- 子どものために思って言ったことをちゃんと聞かなかったり、投げやりな言い方や態度をとられたとき。
- ごはんの用意ができていないのにゲームに夢中になりなかなか食べてくれないこと。
- お願いしたことに対して面倒くさいからイヤだと言われたこと。
- 真剣に話しているのに適当に返事されること。
- 友達や人に対して、驕った言葉やバカにした態度をすること。
- 言い訳をしてきて、素直に言うことを聞いてくれない。
- 手伝いを頼んだときにとても良い返事をしたにもかかわらず、なかなかやってくれなかったこと。

～ 先生の声 ～

全体を通して、子供は自分が頑張ったことを認めてもらえることが嬉しいようです。しかし、思春期の生徒たちの心情は複雑で、自分で自分の気持ちがわからない場面も見られます。たとえば、親に「試合、見に来ないで。」と言う生徒がいる一方で、「授業参観に来てくれなくて嫌だった」と言う生徒もいます。そして、ただ何でも言うことを聞いてくれたり、野放図に自由にさせてもらったり、ということ望んではいないと考えられます。思春期の難しい時期ですが、親として、だめなものはだめと毅然とした態度で接し、また一人の個人として評価して、認めて、励ましていけることができると考えます。

子育てのおもいで



私には中2と小4の息子がいます。わが子を抱いた日、今まで感じた事のない喜びに包まれました。それと同時に、初めて自分の人生の他に「命の責任」を手にして不安に思った事を今でも覚えています。「赤ちゃんってこんな事も出来ないの？」と初めての子育ては不思議でいっぱいでした。ちょっとした事で「こんなママでごめんね」「上手に出来なくてごめんね」と涙する日もありました。でも、息子の口癖は私の口癖だったり、息子に注意したことは私も親から注意されていた事だったり、毎日学びながら合わせ鏡を見るように子育てをしました。周りのサポートもあり、息子達が成長すると共に父として、母として成長できたと思っています。私の身長をあっという間に抜かし、大人びた顔をするようになった長男。まだまだ甘えん坊の次男。2人が見せてくれる沢山の笑顔のおかげで私は「ママ」でいられています。これからも2人に沢山の笑顔が溢れるように楽しんで子育てを頑張っていこうと思っています！時々、子どもたちのお叱りをもらうような母ですが「ママ」を育ててくれてありがとう！！

川本中学校 保護者

！子どもに多い鼻のトラブル！

8月7日は8(は)と7(な)で「鼻の日」です。鼻は、顔の真ん中から、少し突き出すような形をしていますね。それで「いちばんはしの部分」を表す「はな(端)」という言葉が元になって「鼻」と呼ばれるようになったそうです。

◎鼻血が出た！！

- ①顔を下に向けさせます。
- ②小鼻をつまみます。
血がのどに流れ込むのを防ぐためです。「つま先を見てね」と言うと、子どもにもわかりやすいようです。小鼻をつまんで5～10分間押さえます。



◎鼻づまりが続く

かぜ、アレルギーなど、鼻づまりの原因は色々あります。長く続くときは、かかりつけ医に相談を。鼻づまりで苦しそうなときは…寝るとき、枕元に輪切りにした玉ねぎを置いてみて下さい。



◎鼻に物を入れたみたい

- ①反対側の穴をふさいで息を吐き出させます。
- ②取り出せないときは耳鼻科へ。

こんな物に注意！

豆、ビーズ、ピアス、ボタン電池など



*参考 日本耳鼻咽喉科学会ホームページ

「子どものみみ・はな・のどの病気Q&A」

わが校自慢

～上柴東小学校～

《詩の暗唱》

子ども達の言語感覚を養い、豊かな心を育むことを目的として、詩の暗唱に取り組んでいます。毎月、「今月の詩」を全児童に配付し、家庭や学級で暗唱に取り組み、最後に校長室でチャレンジします。休み時間になると、校長室に1年生から6年生の列ができ、一人ずつ覚えた詩を披露します。



《腰骨タイム》

「腰骨を立て『学校が好きで生き生き活躍する子』の育成！」をミッションに掲げ、日々の教育活動に取り組んでいます。「腰骨タイム」は、腰骨を立てた姿勢を身につける時間として、朝の会の中で約1分間、担任が子ども達一人一人の心の状態を確認しながら腰骨に手を当てていきます。



《児童の声》

がんばって覚えた詩を発表する時に、ちょっと緊張するけれど、合格できたときはとってもうれしいです。

《保護者の声》

授業中や卒業式のときなど、子どもたちの姿勢や態度がよくなっていると思います。腰骨タイムの成果ですね。

親子でクッキング



★「畑の肉」と呼ばれるほど、良質なたんぱく質を豊富に含む大豆。そんな大豆をたっぷり使用した、給食でおなじみのメニューです。カレー味にすることで、大豆が苦手な人でも食べやすくなっています。

＜材料 4人分＞

- ゆで大豆 120g
- 豚ひき肉 100g
- ベーコン(短冊切り) 20g
- にら(1cm幅) 12g
- カレールー 12g
- カレー粉 1g
- こいくちしょうゆ 16g
- 本みりん 12g
- 三温糖 12g
- 水 60g

※水は蒸発しやすいので、必要に応じて足してください。

＜作り方＞

- ①ベーコンをから煎りし、油を出す。
 - ②豚ひき肉を、ほぐしながら炒める。火が通ったら水を入れてアクをとる。
 - ③大豆を入れて煮る。
 - ④三温糖、しょうゆ、みりんを調味し、煮詰める。
 - ⑤煮詰めたら、カレー粉、カレールーを入れる。
 - ⑥にらを入れて、煮る。
 - ⑦にらに火が通ったら完成。
- ごはんの上のにのせて食べましょう♪
★冬は、にらの代わりに春菊を入れてもおいしいです♪



♥ごはんの上のにのせるので、濃いめの味付けとなっています。味見をしながら、好みに応じて調味料類を調整してみてください♥

子育てQ&A

Q 毎日宿題をやらせることに苦労しています。なかなか取りかかれない子どもを見るとこちらがイライラしてしまうこともあります。家庭学習の習慣はつけたいと思うのですが、いい方法はありますか？

(小学2年生女子の保護者)

A 小学校低学年の家庭学習の一番のポイントは「勉強嫌いにさせないこと」。楽しい雰囲気で行いたいものです。まずはテレビを消し、今日学校で学んだこと、楽しかったことを親子で語り合しましょう。そこで「がんばったね」「すごいね」とほめれば、子どもの心は「学習モード」に突入です。お子さんの得意な課題から学習をスタートしましょう。

また、低学年では、じっと机に向かって一人で作業する時間は学校でもそれほど多くはありません。集中できる時間もお子さんによって違います。家庭でも机にかじりつきではなく、親子で交互に声を出して音読したり、しりとりや連想ゲームをしながら字を書くなど、ゲーム感覚で勉強するのもいいですね。

深谷市立教育研究所 学校福祉相談員 臨床心理士
金子 まどか

親子で遊べるところ

みーつけた！

ブリッジパーク



また、ローラー滑り台をはじめとした遊具や砂場、芝生広場などもあるので、文化財にふれながらピクニックなど、親子で楽しんでみませんか。



深谷中央病院の北側を流れる福川沿いにブリッジパークがあります。園内には、公園名の由来にもなっている鉄橋があります。この鉄橋は日本煉瓦製造株式会社が深谷駅までレンガを運ぶために福川に架けたもので、同じ種類の鉄橋としては日本最古(明治28年)のものとなっており、市指定の文化財として保存されています。



まごころクイズ

今号の紙面で紹介した「ソイ丼」に使われている、「畑の肉」とも呼ばれている材料は何でしょうか。

- ①：じゃがいも ②：ねぎ ③：ブロッコリー ④：大豆

はがきに、答え・〒住所・氏名・年齢・電話番号・ご意見や感想を明記の上、平成27年9月1日(火)(消印有効)までに下記のあて先へ。正解者の中から抽選で10名様に粗品を差し上げます。

あて先 〒366-0823 深谷市本住町17-3
深谷市教育委員会生涯学習スポーツ振興課「まごころ」担当へ
TEL 572-9581 FAX 574-5861